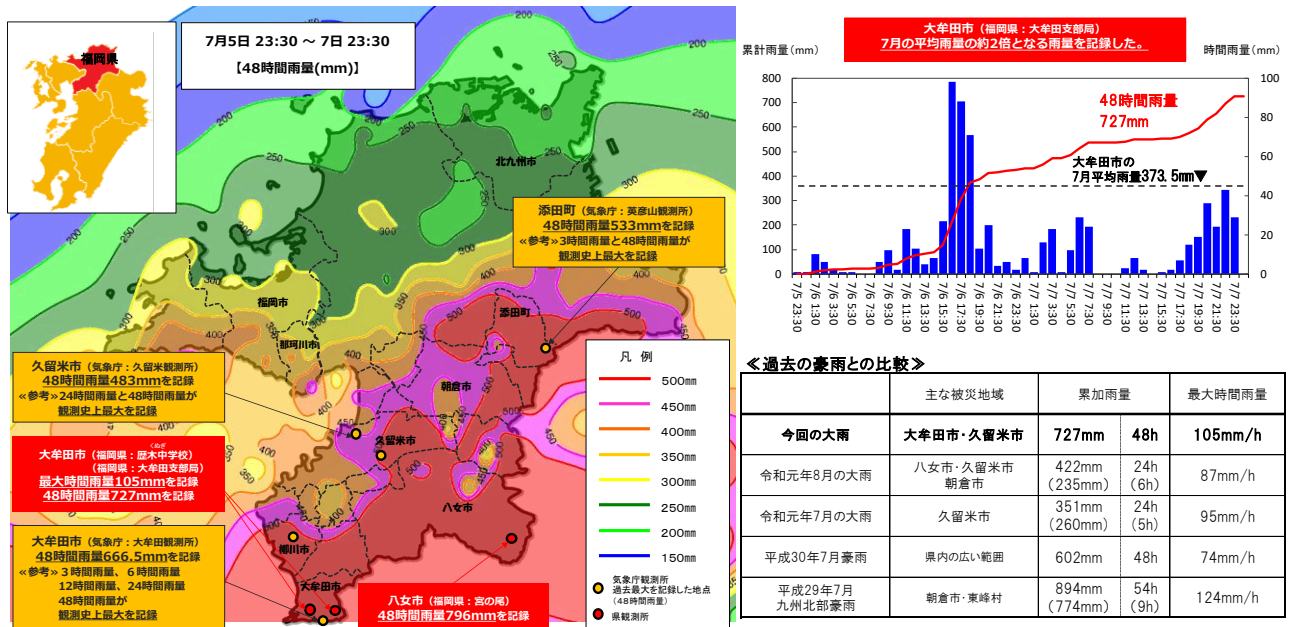


4 令和2年7月豪雨

(1) 被害の特徴

福岡県では4年連続となる「大雨特別警報」が筑後南部に発表される記録的な大雨となり、気象庁の大牟田観測所では、3時間、6時間、12時間、24時間、48時間雨量が観測史上最大を記録するなど、県内の5観測所で過去最大を観測しました。

また、県の大牟田市部局では48時間で7月の平均雨量の2倍となる727mmの雨を観測しました。



※7/9時点のひとまとめ資料であり、今後の分析により更新することがあります。

上記電子データはこちら HP からご覧いただけます→
(ページ番号をクリックしてください)



(2) 被害状況

この雨により、大牟田市、久留米市、朝倉市などの37河川で浸水被害が発生しました。特に筑後川水系では、昨年、一昨年併せ、3年間で4度も浸水被害が発生しています。

県土整備部所管の公共土木施設の被害状況は、道路181箇所、河川574箇所、砂防33箇所であり、被害額は115億円となっています。

被害状況

令和2年7月豪雨	床上浸水：1,460戸、床下浸水：3,593戸
----------	-------------------------

※R2.7.31 災害対策本部資料最終資料より（速報値）

被害箇所数（県土整備部所管の公共土木施設）

道路	河川	砂防	合計
181	574	33	788

※道路及び河川の被害箇所数には、小規模な被害箇所を含む。